

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 (2015.12) 平成26年度:37-38.

慢性心不全患者のAdaptive servo ventilation (ASV)装着を妨げる要因

三輪 陽香、齊藤 若菜、太田 陽介、平田 千晴

# 慢性心不全患者の Adaptive servo ventilation (ASV) 装着を妨げる要因

旭川医科大学病院 9 階西ナーステーション ○三輪 陽香、齊藤 若菜、太田 陽介、平田 千晴  
キーワード：Adaptive servo ventilation(ASV)、慢性心不全、睡眠時無呼吸症候群

## I. 研究の目的

慢性心不全患者の ASV 装着を妨げる要因について分析し、看護支援を明らかにする。

## II. 研究方法

- 1) 研究対象：A 病院で ASV による治療を 6 か月以上継続できている慢性心不全の患者 5 名
- 2) データ分析方法：治療を継続する中で装着を妨げる理由を中心に半構成的面接を行った。逐語録をデータとし、Berelson, B. の内容分析を用いてコード・カテゴリー化した。分析は結果の信頼性、妥当性を高めるためにスーパーノイズを受け検討した。

## III. 研究の倫理的配慮

本研究は A 病院の倫理審査委員会の承認を得て実施した。対象者には研究目的・方法とプライバシー厳守について口頭及び書面で説明し同意を得た。

## IV. 結果

対象者は 5 名で、年齢は 20~60 歳代、男性 4 名、女性 1 名であった。NYHA 分類は、II 度 2 名、III 度 1 名、IV 度 2 名であった。ASV 装着を妨げる要因として、19 のサブカテゴリー、10 のカテゴリーを抽出した (表 1 参照)。

表 1 ASV 装着を妨げる要因

カテゴリー (10)	サブカテゴリー (19)
ASV 装着中の不快感・煩わしさがある	装着中に拘束感・煩わしさを感じる
	加湿器を使用しても口が渇き、装着し続けられない
	エア濡れやアラームが気になる
	呼吸と同調している感じがせず苦しくなる
装着が面倒に感じる	違和感を感じる
	装着が面倒に感じる
ASV を装着したことで実際にトラブルが起きた	洗浄の手間がかかる
	ベルトやヘッドギアの調整が上手くいかない
管理や必要性について医療者からの説明が不足している	皮膚や喉などに障害が起きた
ASV の持ち運びが不便である	管理について説明不足を感じる
	必要性について説明不足を感じる
効果が実感できない	ASV の持ち運びが不便である
ASV 装着が日常生活に組み込まれていない	ASV の持ち運びが不便である
	効果が実感できない
家族の支援が不足している	疲れている時やトイレから戻ったときにつけない
	睡眠導入剤を効果的に使用していない
アフターフォローが不足している	眠る工夫をするが、失敗する
費用が負担に感じる	睡眠導入剤を効果的に使用していない
	家族の協力が乏しい
	退院後の支援やサービスに不満を感じる
	費用が負担に感じる

## VII. 考察

今回の調査で 5 名全員が ASV 装着による呼吸苦や違和感を自覚していた。本村らもマスク装着や陽圧換気への不安が多く見られた<sup>1)</sup>と述べており、【ASV 装着中の不快感、煩わしさがある】【装着が面倒に感じる】【ASV を装着したことで実際にトラブルが起きた】ことが装着を妨げる要因となっていた。さらに、【家族の支援が不足している】と感じていた。以上より、ASV 導入初期では、負のイメージを持ちやすく、ASV の利点や必要性に意識を向けられるよう、さらに管理についても家族から支援が得られるよう指導することが重要と考える。

日常生活の中では【ASV 装着が日常生活の中に組み込まれていない】【ASV の持ち運びが不便である】など実際に ASV を使用したことで生じた問題が、ASV 療法継続の意欲を低下させていた。ASV 装着の意欲を維持できるよう日常生活に取り込める具体策を話し合うことが重要である。

一方、ASV は治療の効果をすぐに実感できるものではなく、今回の対象も【管理や必要性について医療者からの説明が不足している】【効果が実感できない】と感じていた。ASV 導入時のみならず、その後の外来受診等において、ASV の効果を繰り返し確認できるような支援が重要である。

今回、対象者が【アフターフォローが不足している】と感じており、ASV の装置のトラブルを経験していることが明らかになった。今後は、ASV を提供している医療機器メーカーに、保守・点検等のみならずトラブルにも迅速に対応してもらえるよう働きかける必要があると思われる。

## VIII. 結論

ASV の装着を妨げる要因として、まず、【ASV 装着中の不快感、煩わしさがある】【装着が面倒に感じる】【ASV を装着したことで実際にトラブルが起きた】【家族の支援が不足している】状況が明らかになった。さらに、【ASV 装着が日常生活の中に組み込まれていない】【ASV の持ち運びが不便である】など実際に ASV を使用したことで日常生活上の問題を生じていた。加えて、【管理や必要性について医療者からの説明が不足している】【効果が実感できない】と感じていた。一方、【アフターフォローが不足している】と感じており、装置のトラブルを経験していた。

ASV を装着する患者に対しては、ASV の利点、必要性や効果が理解できるよう、さらに、装着行動が日常生活に取り入れられるよう、家族を含め、導入初期のみならず、継続的に支援していく必要がある。さらに、機器トラブルに迅速に対応できるようメーカーへの働きかけが必要と考えられた。

## IX. 引用・参考文献

- 1) 本村麻衣, 安藤真一, 末次富子他: 慢性心不全患者における ASV マスク受け入れについての検討, 心臓, 44 (12), p1575, 2012.